

主催 さんかく岡山 岡山市男女共同参画社会推進センター \*状況により、中止または、開催方法を変更する場合があります。

2022年、生理のある人だけでなく、あらゆるジェンダーの人たちがみんなで、“生理”と向き合う年にしませんか？  
そのスタートとして、生理研究の第一人者、田中ひかるさんによる講演会を開催します。

とき

ONLINE 講演会

2022

1.29

土曜日

10:30-12:00

講師

歴史社会学者

田中 ひかる さん

定員  
対象

- ①会場参加：先着50名
  - ②Zoom参加：先着50名
- 関心のある人どなたでも

参加

無料

生理は  
どのような  
語られてきたか  
“生理の貧困”  
の現在まで

参加  
募集!

あなたの話を聞かせて。生理の当たり前が変わったら？……

Vol.1

会場  
申込先

さんかく岡山

岡山市北区表町3丁目14番1-201号

TEL 086-803-3355

FAX 086-803-3344

メール sankaku@city.okayama.lg.jp



**参加方法** ①会場参加：先着50名 ②オンライン（Zoomにて実施）参加：先着50名 ※定員になり次第締め切ります。  
TEL 086-803-3355 / FAX 086-803-3344 / メール sankaku@city.okayama.lg.jp

**お申し込み用紙**★ご希望の方に○をしてください。①会場 ②Zoom

\*お申込みにあたってお預かりする個人情報は、本講座以外の目的で使用することはありません。

●お名前

携帯電話番号もしくはメールアドレス（Zoomでのご参加の場合は必須）を記入してください。

●ご連絡先



↑こちらからもOK

どのよう  
に生理は  
語られてきたか  
の現在まで  
“生理の貧困”

これまで、「生理」を語ることはタブー視されてきました。

しかし、コロナ禍で、脆弱な立場の女性たちにスポットが当たり、「生理」をめぐる動きも急速に変化しています。

生活が苦しくて生理用品を買えない。声を上げたのは、困難に直面する若い女性たち。  
与野党女性政治家が国会で取り上げたことを受け、岡山市でも生理用品を無償配布する試みを行っています。  
また、生理用品メーカーや百貨店などでも積極的に困難を抱える女性に寄り添って向き合おうという取り組みを進めています。  
では、私たち一人ひとりにできるアクションってなんだろう？

女性同士ですら、個人差も大きく、自分たちの「生理」については話しにくいもの。  
でも、我慢しないでリアルな体験を話し合い、声を上げていくことで、誰もがもっと生きやすい社会に変えていくことは可能です。

2022年、生理のある人だけでなく、あらゆるジェンダーの人たちが一緒に、「生理」と向き合う年にしませんか？  
そのスタートとして、生理研究の第一人者、田中ひかるさんによる講演会を開催します。

オンライン開催！  
**1.29**  
SAT 10:30-12:00  
Zoomはちょっと…という方は  
会場参加OK

※会場参加の場合はスクリーン越しのご視聴となります。

プロフィール

田中 ひかる さん

1970年東京生まれ。歴史社会学者。博士（学術）。立教大学兼任講師。女性に関するテーマを中心に、執筆・講演活動を行う。著書に『生理用品の社会史』（角川ソフィア文庫）、『月経と犯罪 “生理”はどよう語られてきたか』（平凡社）、『明治を生きた男装の女医 高橋瑞物語』（中央公論新社）、『「オバサン」はなぜ嫌われるか』（集英社新書）などがある。  
<http://tanaka-hikaru.com>



講師

会場

さんかく岡山 会議室

岡山市北区表町3丁目14番1-201号

- JR岡山駅から…南東へ1.5km 徒歩約20分
  - 路面電車<清輝橋行>新西大寺町筋下車、新西大寺町商店街を東へ徒歩約1分
  - 天満屋バスステーションから南へ約500m 徒歩約7分
  - 契約駐車場はございません。
- お車で越越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



2021.10-2022.3  
さまざまな角度から女性の健康を支援します。

「さんかく岡山」では、ジェンダー平等を目指し、「性」を取り巻くカルチャーを変えるための取り組みを進めています。